

JICA の研修コースを受講した成果についての報告  
食品衛生のための行政能力強化

氏名 : Amílcar Manuel do Céu Gouveia

問 1 現在の仕事内容を教えてください。

私はモザンビークで化学技師として働いており、具体的には、毒性研究室で環境汚染物の研究をしている。

問 2 日本で学んだどのような知識、技能、技術が現在の仕事に活かされていますか？

野菜の残留農薬の分析は、日本で学び、今の仕事にも生かしているいくつかの実験手法のうちの 1 つである。もう 1 つは、ガス・クロマトグラフィーや HPLC（高速液体クロマトグラフィー）といった手法の利用だ。

問 3 今後あなたはどのような活動を予定していますか？

私はすでに、自分のアクションプランを共同経営陣と、サンプルを集める責任がある環境衛生センターの所長に提案した。アクションプランはほとんど修正されなかった。すでに私は、農業省が用意した登録済み農薬のリストを手に入れている。私のアクションプランが「農薬および残留農薬の市場での規制」だったのを覚えている。

問 4 日本人と JICA に対してメッセージをお願いします。

科学・経済・文化およびその他の分野で日本が他のコミュニティに差し伸べている援助と、他国の発展に関心を寄せていることに対し、日本人に感謝している。

